

藤江 正名誉教授記念号の発刊によせて

学長 山 田 家 正

このたび、人文研究第87輯を発刊するにあたり、本学の教育・研究に多大の貢献をされた小樽商科大学名誉教授藤江 正先生のご業績を讃え、本輯を「藤江 正名誉教授記念号」とすることになりました。藤江先生は1965(昭和40)年4月に商学部講師としてご着任後1967年11月助教授、1975年教授に昇任され、1993(平成5)年3月定年によるご退官までの通算28年間の長きにわたり一般教育等保健体育系教官としてご活躍いただきました。

この間、学生の体育講義・実技の教育とご研究に専念される一方、毎年恒例の本学公開講座である市民スキー講座の指導を担当して頂くなど、市民の方々のスポーツ指導にも力を注いでいただきました。特に、最も得意とされ、ご自身も学生時代から選手として活躍されたラグビーについては研究論文も多く、なかでも「日本におけるラグビーフットボール競技規則改正に関する史的考察(人文研究第84輯, 1992)」は先生のラグビーについてのご研究の集大成と伺っております。また1975(昭和50)年から北海道ラグビーフットボール協会大学委員会委員長、1984(昭和59)年からは全日本スキー連盟公認基礎スキーB級検定員、1990(平成2)年から小樽市スポーツ振興審議会委員など多くの要職に就任されるなど、学外でのスポーツ振興の指導的役割も果たしてこられました。

藤江先生は誠実なお人柄と真摯な教育者としての姿勢をもって、学生に対してはもとより若い教官達にも接してこられました。社会科学系大学である本学が他大学に比しても充実した保健体育の教育や施設を備えてこられたのは、1990(平成2)年にすでにご退官になられた杉山 登名誉教授と共に、車の両輪のような活躍をされた結果であります。この伝統が本学の保健体育

教育に立派に受け継がれておりますことは有難いことでもあります。ご退官後も本学の非常勤講師として今なお学生の教育にお力添えを頂いており、改めて感謝申し上げますとともに、先生の今後のご健勝とご多幸を祈り上げて本記念号発刊のご挨拶と致します。